

第77回 兵庫県小学校長会研究大会 但馬大会

- 1 主催 兵庫県小学校長会
- 2 後援 兵庫県教育委員会 豊岡市教育委員会
養父市教育委員会 朝来市教育委員会
香美町教育委員会 新温泉町教育委員会
公益財団法人 日本教育公務員弘済会 兵庫支部

3 期日 令和8年10月20日（火） 13時開会

4 会場 和田山ジュピターホール

〒669-5213 朝来市和田山町玉置 877-1



目 次

○ 兵庫県小学校長会会長あいさつ	1
○ 実行委員長あいさつ	2
○ 大会主題・趣旨	3
○ 大会日程及び会場	4
○ レポート報告者	5
○ 研究領域別研究課題・趣旨	5
○ アンケートのお願い	7

あ い さ つ

兵庫県小学校長会

会 長 山 田 知 之

第77回兵庫県小学校長会研究大会が、県内各地から多くのご参加を得て但馬地区で開催できますことに、兵庫県小学校長会を代表し、心よりお礼申し上げます。また、日頃より県内の子供たちの健やかな成長と豊かな学びの実現に向け、それぞれの学校においてご尽力いただいておりますことに、重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、本年度は、次期学習指導要領に向けた答申が示され、これからの学校教育の方向性が明らかになる重要な年です。社会が大きく変化する中であっても、子供たちが自ら学び、多様な人々と協働しながら未来を切り拓いていく力を育むために、私たち校長には学校経営のさらなる充実が求められています。

兵庫県小学校長会では、「学び続ける」「ともに進む」「双方に声を届ける」活動を大切にして取り組んでいます。校長自らが学び続け、互いの実践や思いを共有しながらともに進み、学校現場・県教委（国・市町）双方の声を届け合うことは、子供たちのよりよい学びと、兵庫の教育の充実につながるものと考えています。本大会は、これらの活動を具体的に実行していく兵庫県小学校長会の大きな学びの機会です。

今年度は、「夢をもち、未来を創る 心しなやかな子どもの育成」を大会主題に研究大会を開催いたします。各研究領域のレポート報告や講演を通して多くの学びや気づきを共有し、それぞれの学校経営を見つめ直す機会となることを期待しています。そして、得られた学びが、各校の教育活動の充実と兵庫県小学校長会が目指す「笑顔あふれる元気な学校」に向けた校長先生方一人一人のビジョンづくりにつながることを願っています。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただきました但馬地区の校長先生方、ならびに温かいご指導・ご支援を賜りました但馬教育事務所長様をはじめ、ご来賓並びに関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会が、参加されるすべての校長先生方にとって実り多い学びの場となることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

実行委員長あいさつ

兵庫県小学校長会研究大会但馬大会

実行委員長 大 森 真 次

県下各地よりご参加の校長先生方をお迎えし、兵庫県小学校長会研究大会但馬大会を開催できますことを、大変うれしく思います。但馬地区実行委員会を代表し、心より歓迎申し上げます。また、校長先生方におかれましては、日ごろより子どもたちの健やかな成長と豊かな学びの充実に向け、学校教育の充実・発展にご尽力をいただいておりますことに深く敬意を表します。

社会の変化が加速度的に進み、学校教育にも新たな対応が求められる今日、校長には、時代の先を見据え、学校の未来を切り拓いていく確かなリーダーシップが求められています。

また、次期学習指導要領の方向性も見え始め、「主体的・対話的で深い学びの実装」「多様性の包摂」「実現可能性の確保」の三つの方向性に基づく改善を三位一体で具現化させ、新たな学びの構築や、各校の独自性を生かした教育課程の編成など、一人ひとりの子どもを大切にし、その可能性を最大限に伸ばす学校づくりも求められています。

校長会におきましても、校長としての力量を高めるとともに、校長同士のつながりを深め、創意と活力に満ちた学校づくりを進めていくため、校長自らが学び続ける姿勢を持ち続け、研修に取り組んでいくことが重要です。本研究大会が、今後の教育実践や学校経営の一助となり、皆様の研鑽を深める契機となれば幸いです。

本研究大会は、本来であれば、全体会を開催後に分科会（8分科会）に分かれて実践発表・研究協議を行う形態で開催する予定でしたが、諸般の都合により、本年度は分科会を開催せず、講演会を実施することとなりました。どうぞご理解いただきますようよろしくお願いいたします。また、実践発表の代わりにレポートによる報告という形をとらせていただきました。執筆をお願いしております皆様に、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

講演会におきましては、芸術文化観光専門職大学学長の平田オリザ先生にご講演をいただきます。これからの学力観や学校観について、今後学校が取り組む方向性についての多くのご示唆をいただけるものと楽しみにしております。

午後半日の短い時間ではありますが、ここ但馬の地で開催する本研究大会が、ご参加の皆様にとって実り多き研修となりますよう祈念いたしまして、実行委員会を代表しての歓迎のごあいさつとさせていただきます。

1 大会主題

「夢をもち 未来を創る 心しなやかな子どもの育成」

2 趣旨

近年、我が国では、少子高齢化の進行や経済格差の拡大、不安定な国際情勢など様々な課題に直面するとともに、デジタル技術や人工知能の急速な発展、グローバル化の進展によって社会の在り方が大きく変化している。先行きが不透明で予測困難な時代を迎える中、一人一人が持続可能な社会の創り手として主体的に生きていくことが求められている。

一方、学校現場においては、いじめや不登校、特別な支援を要する児童の増加、児童虐待や貧困への対応など、子どもを取り巻く課題が複雑化・多様化している。また、教員不足や若手教職員の育成、働き方改革の推進、危機管理体制の充実など、学校経営上の課題も山積している。このような社会情勢の中、子どもたちが安全で安心して学び、教職員が専門性と働きがいを発揮できる学校づくりに向けて、学校が果たすべき役割はますます重要になってきている。

こうした状況を踏まえ、次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」のさらなる実装を図り、多様性を包摂し、個々の可能性を最大限に伸ばす教育の実現が重視されている。また、生涯にわたって学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を切り拓き、民主的で持続可能な社会の創り手となる資質・能力の育成が求められている。そして、情報活用能力や探究的な学びの充実、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進など、新しい時代にふさわしい教育の在り方が示されている。

私たち校長は、このような新しい時代を生きる子どもたちに、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力を育成するため、授業改善やカリキュラム・マネジメントの充実を図り、「社会に開かれた教育課程」の実現に努めなければならない。そして、未来への展望をもった明確な学校経営ビジョンのもと、教職員の力を結集しながら、強いリーダーシップを発揮し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進していくことが求められている。

予測困難な未来社会を生きる子どもたちには、変化にながされて生きるのではなく、変化に対応しつつ、よりよい希望に満ちた未来を創る人であってほしいと願う。

それは、「夢をもって未来を創る」ことを意味し、そのためには、「心のたくましさ」だけでなく、他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働していく「心のしなやかさ」が重要であると考えている。

こうした状況を踏まえ、本大会の主題を「夢をもち 未来を創る 心しなやかな子どもの育成」と設定し、「兵庫は一つ」という連帯の理念に立ち、兵庫各地におけるそれぞれの実践を交流することとした。

本大会では、兵庫県小学校長会の会員が集い、校長としての志を高く掲げ、ゆるぎない信念をもって経営方針を確立し、教職員の資質・能力の向上、自主性・自律性のある創意と活力に満ちた学校づくりを推進することを決意する。

3 大会日程及び会場

(1) 日 程

12:30 13:00

14:00

16:00

受付	全体会	講演会	閉会
----	-----	-----	----

(2) 全体会

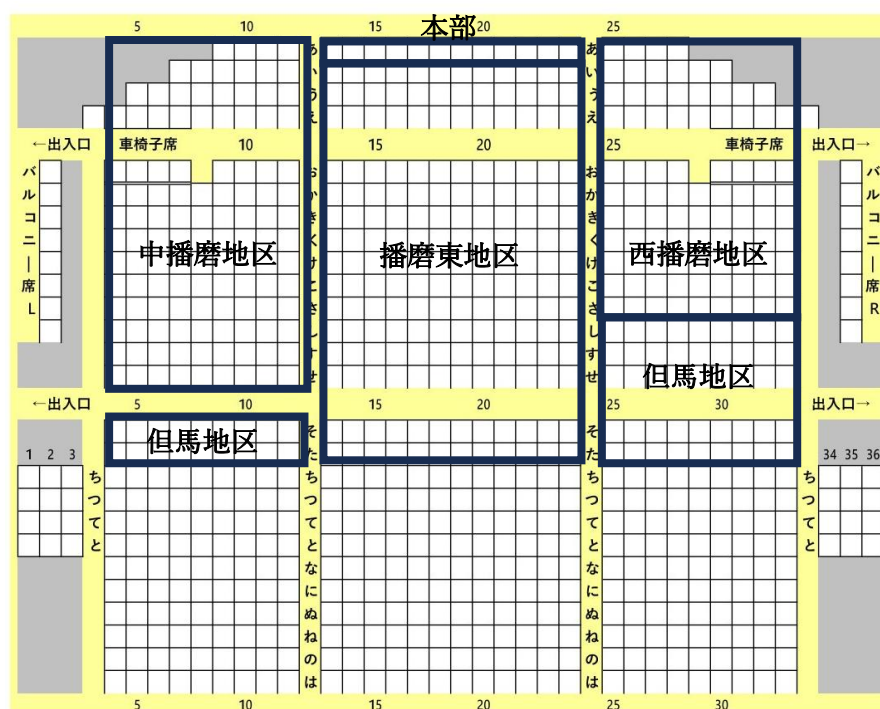
- | | | |
|--------------|------------------|---------|
| ① 開会のことば | 但馬大会副実行委員長 | 河本 純子 |
| ② 国歌斉唱 | | |
| ③ あいさつ | 兵庫県小学校長会会長 | 山田 知之 |
| | 但馬大会実行委員長 | 大森 真次 |
| ④ 祝辞 | 朝来市長 | 藤岡 勇 様 |
| | 兵庫県教育委員会但馬教育事務所長 | 倉田 悟 様 |
| | 新温泉町教育長 | 森田 篤志 様 |
| ⑤ 来賓紹介 | | |
| ⑥ 大会主題及び趣旨説明 | 兵庫県小学校長会経営委員長 | 山本 司 |
| ⑦ 閉会のことば | 但馬大会副実行委員長 | 坂本 直美 |

(3) 講演会

演題 『 新しい学力観 新しい学校観 』

講師 平田 オリザ 氏（芸術文化観光専門職大学 学長）

(4) 会場案内図



4 レポート報告者

	研究領域	報告者
1	学校経営 ①校長の職務 ②組織・運営	(播磨東) 明石市立和坂小学校 久米 高弘 校長 (西播磨) 宍粟市立一宮北小学校 谷尻 恒博 校長
2	教育課程 ①豊かな心 ②確かな学力	(播磨東) 加古川市立平岡小学校 木船 和幸 校長 (中播磨) 福崎町立八千種小学校 三輪 健一 校長
3	現職教育	(播磨東) 播磨町立播磨小学校 河合 庸子 校長 (但馬) 豊岡市立五荘小学校 和田 晃典 校長
4	生徒指導	(播磨東) 加東市立滝野東小学校 小林 美穂 校長 (西播磨) 赤穂市立御崎小学校 清水 浩 校長
5	人権教育	(播磨東) 多可町立松井小学校 神崎 進吾 校長 (中播磨) 姫路市立広畑小学校 松本 典久 校長
6	健康教育・食育	(播磨東) 西脇市立重春小学校 竹内 友哉 校長 (中播磨) 姫路市立坊勢小学校 岸本 智裕 校長
7	特別支援教育	(西播磨) たつの市立東栗栖小学校 香田有紀子 校長 (但馬) 朝来市立大蔵小学校 福田 秀則 校長
8	教育課題 ①防災教育 ②外国語教育	(但馬) 新温泉町立温泉小学校 株本 和則 校長 (中播磨) 姫路市立四郷学院 鎌田 隆志 校長

5 研究領域別研究課題・趣旨

	研究領域	研究課題	趣旨
1	学校経営 ①校長の職務 ②組織・運営	①社会に開かれた教育課程実現に向けた創意と活力にあふれた学校づくり	学習指導要領ではよりよい学校教育を通して、よりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有することが示され、社会に開かれた教育課程の実現に向けた教育実践が進められている。学校は子どもたちの生きる喜びと夢を育み、これを実現させる力を育てる場である。校長は明確な学校経営のビジョンを示し、これを教職員・保護者・地域住民と共有し、活力あふれる学校経営に邁進することが求められている。そのため校長としてどのように考え指導力を発揮すればよいか研究協議する。
		②学校組織の運営を工夫した学校づくり	校長が示す学校経営のビジョンを推し進めるためには、学校組織がその機能を十分発揮できるようにすることが不可欠である。学校が直面する課題が増す中、これからの学校の働き方改革として教師の専門性を生かしつつ、授業改善のための時間や子どもたちと向き合う時間の確保をしながらも、働く時間そのものを抑制する組織的で機能的な取組が求められている。学校評価を生かすとともに、主幹教諭の活用や臨時講師の課題等も考慮し、校長としてどのように考え、学校組織の運営を工夫していけばよいか研究協議する。

2	教育課程 ①豊かな心 ②確かな学力	①豊かな心を育む学校づくり	子どもたちの豊かな人間性・社会性を育み、しなやかに生きる力を身に付けさせるには、「特別の教科 道徳」をはじめとする道徳教育を充実させるとともに、発達段階に応じて環境体験事業や自然学校、社会体験活動など様々な体験活動を行うことが有用である。そこで、学校のエデュケーション全体を通じて、豊かな心を育む教育課程の編成と実施について、保護者や地域社会との連携も含めて、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。
		②確かな学力の向上を目指す学校づくり	学校は、基礎学力の定着や学習意欲の向上に向けて、粘り強く取り組むとともに、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善「確かな学力」の向上、基礎学力を活用できる力を育むことが今後一層求められる。兵庫型学習システムの取組、全国学力・学習状況調査の結果を生かした取組、個に応じた指導など学力向上を図る教育課程の編成・実施にあたり、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。
3	現職教育	教職員の資質・能力を向上させる学校づくり	教師の指導力をはじめ資質能力を向上させることは、即ち学校への信頼を高めることである。そのためには、職員集団が組織全体として力量を高めるための研修体制づくりとともに、個々の教職員が目標を持って自らの能力の向上に励むことのできる取組（人事評価・育成）を充実させることが不可欠である。資質・能力向上を図るにあたり、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。
4	生徒指導	豊かな人間関係を築く学校づくり	児童の豊かな人間性と社会性を育むためには、子どもの内面の理解に基づき、人間的なふれあいを通じた生徒指導が求められている。とりわけ、重要課題となっているいじめ・不登校・暴力行為、ネットトラブル等については、学校・家庭・地域社会・関係機関が未然防止、早期発見と対応に努めているが生徒指導を学校づくりの柱に据え、これを推進させるために、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。
5	人権教育	お互いの人権を尊重し「共に生きる心」を育む学校づくり	子ども一人一人の自尊感情を育むとともに、人権に係る知的理解及び人権感覚の涵養、人権課題を自ら解決しようとする意欲や態度を育てることが大切である。同和問題を重要な柱ととらえつつ、各学校の人権課題に応じて全教育活動を通じて児童の人権意識を高め、自他の人権を大切に作る実践力を身につける取組を進めるにあたり、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。
6	健康教育・食育	たくましい心身を育み健全な食生活を目指す学校づくり	運動能力の低下や心身の健康状態、食生活の乱れが社会問題となっている中、生涯にわたる健康の基礎を培う教育活動は喫緊の課題となっている。自ら健康の大切さを理解し、運動やスポーツに親しんで体力の向上、健康の保持増進に取り組む子どもに育てること、望ましい食習慣の形成を図るために家庭・地域社会と連携して食育を進めるにあたり、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。
7	特別支援教育	一人一人の教育的ニーズに対応した学校づくり	特別支援学級在籍児童や通常の学級に在籍するＬＤ、ＳＤ、ＡＤＨＤなど特性のある児童の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するためには、一人一人の教育的ニーズを把握し、きめ細かい教育的支援等の合理的な配慮を行うことが大切である。保護者や関係機関と協力・連携し、校内の支援体制を組織しながら取組を進めるにあたり、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。

8	教育課題 ①防災教育 ②外国語教育	①あらゆる災害に対して、震災の教訓を生かし防災体制を充実する学校づくり	阪神淡路大震災から31年が経過し、当時の記憶の風化が懸念される中で東日本大震災が発生した。南海トラフ巨大地震や多発する風水害等備えるために適切に対応できる実践的能力を育成するとともに、地域の災害特性や学校の実態を踏まえた防災訓練等の工夫・改善に努める。さらに、学校・地域・関係機関の果たす役割を明確にした学校防災体制の確立、推進など、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。コロナウイルス感染症も災害ととらえ、さらなる危機管理意識の高揚、学校現場と教育委員会との協力体制等について協議する。
		②豊かなコミュニケーション力を育む外国語教育を目指す学校づくり	グローバル化が進む社会において、子どもたちが、将来、国際社会で活躍できるよう語学力やコミュニケーション能力を育むことが求められている。自らの考えや意見を伝え、主体性や創造性、責任感などをもって行動できる能力や態度、さらに他者を価値ある存在として尊敬し、多様な人々と協働して変化を柔軟に受け止めることができる資質能力を育成するために、校長としてどのように考え、指導力を発揮していけばよいか研究協議する。

6 アンケートのお願い

本日は研究会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

今後のより良い企画および大会運営の改善に役立てるため、下記の二次元コードからアンケートの回答をお願いします。お忙しいところ恐縮ではございますが、率直なご意見・ご感想をお聞かせいただけますと幸いです。

【回答期限】令和8年10月23日（金）まで

ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

